



平成28年4月1日

関係各位

国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科長

教員（准教授）の募集について

本研究科では下記により教員（准教授）を募集いたします。この募集は、文部科学省の卓越研究員事業の推薦制度を利用するものです。（http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/も併せてお読みください。）

記

1. 募集人員：准教授1名
2. 所属・勤務地：東京大学大学院農学生命科学研究科卓越農学研究分野
東京都文京区弥生1-1-1
3. 研究領域及び講義・演習科目：
 - 1) 研究領域：復興土壌学研究領域（生物・環境工学専攻を兼任する予定）
 - 2) 講義・演習科目：
（学部）復興土壌学に関連する科目を生物・環境工学専修における准教授の平均的な講義・演習・実験科目の負担量と同程度担当（年間2～3科目程度）
（大学院）復興土壌学に関連する講義科目ならびに、生物・環境工学特別研究I, II、
生物・環境工学実験実習、生物・環境工学演習、生物・環境工学特別実験実習
4. 採用時期：平成28年10月1日以降
5. 雇用形態：常勤（任期なし）、裁量労働制
6. 待遇：東京大学の定めるところによる
7. 社会保険等：文部科学省共済組合、雇用保険加入
8. 応募資格：下記の全てに該当する方
 - 1) 博士の学位を有すること
 - 2) 平成29年4月1日現在40歳未満の者
 - 3) その他、卓越研究員候補者の要件を満たす者（http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/）
 - 4) 土壌水文学、地盤工学、土壌化学のうち複数の分野で優れた研究業績を有し、学生の教育指導等を積極的に行えること
 - 5) 上記3の2)の講義・演習・実験を担当可能なこと
9. 応募書類：各1部
 - 1) 履歴大要
 - 2) 研究業績（著書、原著論文、総説、その他）

- 3) 教育業績
- 4) 社会貢献（学会活動、委員会活動等）
- 5) 競争的資金の獲得状況（過去5年程度）
- 6) 主要論文の別刷、5編以内
- 7) これまでの研究概要（1000字程度）
- 8) 着任後の研究方針（1000字程度）
- 9) 教育方針と抱負（1500字程度）
- 10) 卓越研究員 申請書（様式3, 4）
- 11) 卓越研究員 申請書（様式6）

※10 および11 は、様式を文部科学省の卓越研究員事業のHP からダウンロードしてください。

本学と文部科学省（e-Rad）の両方に提出する書類ですので、ご注意ください。

応募書類は返却しません。応募書類は、本応募の用途に限り使用し、個人情報をご正当な理由なく第三者に開示、譲渡、貸与することはありません。

10. 選考方法：

本研究科教員選考委員会において選考し、推薦候補者を決定します。その後、文部科学省の選考、教授会の議を経て候補者を決定します。また、必要に応じて面接を行います。9月開催の教授会での審議終了後、選考結果を通知します。

なお、面接にかかる交通費は支給しません。

11. 応募締切：平成28年5月12日（木）（必着）

※文部科学省（e-Rad）締切：平成28年5月9日（月）17時

（本研究科の締切と異なるため、ご注意ください。）

12. 応募書類送付先及び問い合わせ先：

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学系総務課人事チーム 宛

TEL：03-5841-7623、5030

E-Mail：jinji[at]ofc.a.u-tokyo.ac.jp

[at]を@にして送信してください

封筒に「卓越農学研究分野准教授応募書類」と朱筆し、簡易書留で郵送してください。

13. その他：

本公募は文部科学省卓越研究員事業にかかる公募である。詳細は下記のURLを参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/

復興土壌学：農業生産、災害復興や防災、土壌汚染対策といった現実の課題を念頭に、農学、工学、理学を融合し、学際的かつ国際的に研究を推進する分野である。土壌水文学、土壌物理学、地盤工学、土壌化学等の分野を主とし、生物・環境工学、作物学、森林科学、気象学、水文学、放射線環境工学等周辺学問分野と協働しながら研究・教育を行う。

専攻の概要、研究科・学部、学部教育の概要等は下記Webサイトでご確認ください。

東京大学大学院農学生命科学研究科生物・環境工学専攻：<http://www.en.a.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部：<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/index.html>

生物・環境工学専攻の教育の目的：生物・環境工学専攻は、地球・自然環境を保全しつつ食料生産の基盤と地域環境を整備し、生物資源を高度に持続的に利用する課題を、主として工学的手法によって探究する能力を養うことを目的としています。

本学では男女共同参画の推進に取り組んでいます。

また、本研究科では、履歴業績（研究業績、教育業績、社会貢献）、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

なお、採用日から6ヶ月間の試用期間があります。